

子ども会活動振興策の方向性(案)に対する
市民意見の内容及び市の考え方

令和 6 年 12 月

名古屋市

目 次

1 子ども会活動振興策の方向性(案)に対する市民意見の概要	
(1)パブリックコメントの概要……………	1
(2)市民意見の内訳……………	1
2 子ども会活動振興策の方向性(案)に対する市民意見の内容及び市の考え方	
(1)基本理念……………	2
(2)基本方針……………	3
(3)基本方針に基づく子ども会活動振興策の方向性の方向性…	4

1 子ども会活動振興策の方向性(案)に対する市民意見の概要

子ども会活動振興策の方向性(案)の策定にあたり、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、いただいたご意見の内容は、一部要約または分割して掲載しましたのでご了承ください。

(1)パブリックコメントの概要

意見募集期間	令和6年9月12日(木)～令和6年10月11日(金)	
市民意見提出状況	区分	件数
	郵送	1
	ロゴフォーム	68
	なごやこどもアンケート	40
	電子メール	3
	計	112

(2)市民意見の内訳

項目	件数
基本理念	12
基本方針	10
基本方針に基づく子ども会活動振興策の方向性	90

2 子ども会活動振興策の方向性(案)に対する市民意見の内容及び市の考え方

(1)基本理念について(13件)

【主な意見】

- ▶子ども会は、地域での学校以外のコミュニティとして大切なものであると思う。
- ▶子どもの成長にとっても、子ども会の役割は非常に大きい。
- ▶休日の過ごし方において子ども会の行事は子どもにとってとても有意義なものと感じています。
- ▶子ども会運営の難しさを感じますが、地域の繋がりも重要だと思います。
- ▶子ども会は子どもの交流だけでなく、子どもを通じて親の交流もある事が大切と感じます。外部委託的な方向性は、あまり賛同できないと考えます。
- ▶子ども会活動で、娘たちは地域のみなさんや異年齢の子どもたちと貴重な遊びと交流、体験を得ましたし、私も役員として引率する際に、会員の子どもの笑顔がたくさんみられるので、子ども会が続いて欲しいと願っています。
- ▶子ども会活動は、こどもにとっての楽しみであり、多くの地域に子ども会が広まればと考えております。運営費が足りないところは、名古屋市や国による支援を行うのはいかがでしょうか。

など

【市の考え方】

子どもが遊び、学び、交流し、体験することは、子どもの成長にとって非常に大切であると考えており、子ども会活動は、身近な地域でこのような機会を提供する非常に意義のある取り組みであると考えております。

また、子ども会活動については、地域のつながりや保護者同士の交流の観点からも重要であると考えておりますので、方向性に基づく各種支援策を着実に進めることで、活動の活性化につながるよう支援に努めてまいります。

(2)基本方針について(9件)

【主な意見】

- ▶子どもが子ども時代に家庭の収入や環境に左右されずに一つでも友達との楽しい思い出があること、それを作れる場は、とても大切だと思います。名古屋市として子どもの環境を大きな視点で考えてほしいです。なんでも民間に任せれば解決とはならないと思います。
- ▶家庭、学校以外の居場所の存在が大事であることは、そのとおりです。ただ、地域には多様な価値感が存在するので、地域地縁を根拠にした子ども会だけではない。子ども会への熱量は、子どもも大人も千差万別で、熱量のない義務的な人が運営する子ども会に参加する子どもは不幸だと思う。
- ▶今の子どもにとっては、子ども会ごとのイベントよりは、普段安心して遊べる場所があるといいなと感じます。親が申請して時間を決めて行く場所ではなく、もっと気軽に友達と過ごせる居場所があるといいのになと思います。
- ▶保護者負担の軽減のところで挙がっている案をぜひ遂行して欲しいです。また、運営補助者の派遣についてもぜひ推進して欲しいです。すべてに言えることはスピード感をもって進めて欲しいです。
- ▶社会は変化し、保護者の働き方や考えも変わっています。柔軟に少しずつ、状況に合わせて変化していけるといいなと思います。親の子を思う気持ちは変わらないため、親の気持ち、ニーズ、状況を広く把握頂いて、行政主導で生きやすい社会を導いて頂けたらと思います。

など

【市の考え方】

子ども会活動については、地域ごとにさまざまな取り組みが行われておりますので、引き続き助成金の交付など、これまでの支援を継続するとともに、保護者負担の軽減を重点とする新たな支援に取り組むことで、活動の活性化につながるように支援をしてまいります。

支援にあたっては、運営の効率化を通じた保護者負担の軽減に早急に取り組むとともに、子どもの参加機会の充実などにも取り組んでまいります。

なお、子育て世帯のライフスタイルの変化や子どもの休日の過ごし方が多様化していることから、適宜、アンケートなどを実施することで、保護者や子どものニーズの変化なども把握してまいります。

(3)基本方針に基づく子ども会活動振興策の方向性(90件)

①保護者負担の軽減

全般
【主な意見】 ▶会員数の多かった頃は、役員をできる状況の方にのみお願いするということも可能でしたが、現在は少人数ゆえに入会する時点で役員をやることが実質確定しており、仕事等の忙しい方には入会を勧めにくく感じます。 ▶子どもたちが喜んでくれることも嬉しいですし、会長職をやることは地域への恩返しでもあるのでいいのですが、お母さんたちにひたすら負担がある、今の子ども会の状況はもうやめた方がいいと思います。フルタイムの仕事をしている人は会長も、役員も引き受けてくれない人もいます。保護者の負担軽減に絞って、計画を実施して下さることを強く要望いたします。 ▶現状、子ども会への参加、不参加は、保護者がさせたいか、させたくないか(保護者の負担があるかどうか)が主な判断材料)で子どもの意思は、2番目です。「学校での繋がりがあるのに子ども会まで参加しなくても」「負担が多い」「共働きだから」など、参加意義が保護者の納得のいく理由でないと減少が続くと思います。事務的な保護者の負担が減ったとしても、現役世代は、地域のつながりを必要と感じないため、参加自体にめんどくささや忙しさを感じるのです。学校以外での地域のつながりが必要な理由をもっと示して欲しいと思います。 など
【市の考え方】 多くの子ども会では、会員の保護者の方に活動を支えていただいております、運営に携わる保護者負担の大きさが子ども会の団体数や会員数の減少につながっていることを踏まえ、ICTツールの活用を始めとした運営の効率化や多様な支え手の確保を進めることで、早急に保護者の負担軽減に努めてまいります。

運営の効率化

【主な意見】

- ▶子ども会役員が感じている負担感については、LINEなどのSNSを利用して連絡したり、会議はzoomにしたりするなど、ICTを活用することで、解決するのではないかなと思います。
- ▶初めて育成者をして、前年からの引き継ぎなどの不足で不透明な部分があるのでマニュアル作成は良いと思う。
- ▶子ども会会長の役を担う時に、前会長さんからの引継ぎのみで、分からないことが多かったので、子ども会に関するプラットフォームの整理は大変ありがたいですが、プラットフォームを見に来てもらうための工夫も必要ではないかと感じます。また、閲覧するだけではやっぱり理解しきれなかったり、重要なところを見逃してしまったりすることもあることを考えると、年度ごとに新役員さん向けに、説明会があるといいと思います。
- ▶助成金の申請手続きの簡素化、オンライン申請はぜひ進めて頂きたいです。保護者は仕事もあるため、助成金の申請手続きのために、仕事を休む必要があり負担です。
- ▶助成金の申請手続きにおいて、現金受領は省いて、その資金を活用して、パッケージのイベントを選択でき、運営を行ってくれるシステムがあると良いです。それを希望されない子ども会は、今まで通り助成金を受領することもできる選択制にすると良いです。
- ▶近年、核家族化がめざましい中、子ども会役員が子どもにお留守番をさせて、夜間に行われる各種団体の会議への参加を強いられることは、非常に負担が大きい。
- ▶区子連の会議もオンライン開催かアーカイブ配信をし、会議に参加しなくても閲覧できるようにしてもらいたいです。
- ▶子ども会役員にとっては、自分たちで行事を考え、講座主催者や会社に連絡を取り、名簿を作ったり、スケジュールを組んだり、お菓子やプレゼントを考えたりと様々なことを少ない役員で準備をして行くことも負担に感じます。また、子どもたちをまとめて、引率することも慣れない身からすると負担に感じます。
- ▶保護者の方からの声には、子ども会に入会させたいけど、役員になったときに負担が要因で、入会をためらっているという声を多々聞かれました。

反面、お手伝い程度なら喜んでするという言葉も聞かれ、実際にお願いするとご協力頂けます。メインで計画やら準備、中心となる組織の方がいらっしゃり、役員はあくまで『補助』的なポジションに居られるのであれば、もう少し会員数も増えるのかなと思います。

- ▶今の子ども会の運営は、効率がとても悪い気がします。平日や夜の集まりなど拘束時間が長く、係りも固定されていて、とても非効率で変えようすると反発が大きく、働いている方の負担を考えると、入会をすすめられる状態ではありません。残念ながら運営されている方の意識や考え方を变えるのはとても大変で、入会に二の足を踏まれる方の気持ちが分かります。古い体質、やり方を変えていかないと、存続の危機だと身をもって実感します。

など

【市の考え方】

子ども会の活動を支える保護者の負担感が大きくなっており、早急に運営の効率化を通じて負担軽減を図る必要があると考えております。

ICTツールの活用については、これまで実施してきた講習会によるサポートだけでなく、専門家派遣など新たな手法も活用しながら、子ども会での導入が進むように支援をまいります。

また、保護者を始めとする子ども会役員の活動を支えるため、運営事務マニュアルや相談対応事例集の作成、デジタルプラットフォームの整備などを通じて、不安や負担感の軽減に努めてまいります。

さらに、子ども会運営助成金の申請手続きのオンライン化を通じ、手続きの簡素化や利便性の向上などにつなげるとともに、区子連等の運営の効率化が進むように会議のファシリテーターなどの外部の専門家による相談支援を実施し、運営の効率化が進むように支援してまいります。

多様な支え手の確保

【主な意見】

- ▶子ども会ボランティアサークルについては、コロナ禍を受けて、活動の機会が減り、子ども会役員からの認知度も減っているため、ホームページなどを通じて、活動のアピールができればと思います。また、市主催で会員を対象に、研修会を設定していただけると嬉しい。さらに、昨今の物価高騰により、会内の訓練キャンプへの交通費、キャンプ場の施設代、食事代等の活動費だけでなく、消耗品費・通信費なども高騰し、運営がかなり大変になっているため、ボランティアサークルに対する活動費の支援も充実させてほしい。
- ▶子ども会ボランティアの依頼で、負担が軽減されていますが、児童館に行って、手書き依頼する仕組みはタイムロスもあり、紙を無くせると負担がより軽減できると考えています。
- ▶ジュニアリーダーというものがありますが、単なるお手伝いではなく、企画運営にも携わっていただき、本人達の主体性が伸びるようにサポートしたいです。
- ▶子ども会活動アシストバンク事業は、ぜひ利用してみたい。このような事業があることも知らなかったなので、ぜひ広げて欲しい。
- ▶地域の役割の中心的存在である「町内会」「自治会」が子ども会活動に対する理解を共有し、地域として必要なサポート体制(人材、財政、ノウハウ)を構築できないと、将来に向けた子ども会の活性化と存続は、困難と考えます。
- ▶企業の方や学生さんに手伝ってもらって行うイベントは、子どもたちの自立にいい体験かと思います。
- ▶地域子ども会の実情を地域の中で、相互の日常活動や経験、工夫、悩みなどを率直に交流できる場が現状ではないため、どの子ども会も孤立し、ためらい逡巡しています。どの子ども会も、会員・保護者世帯の状況、地域の特性や活動状況が異なるため、お互いの課題を解決するために似通った子ども会の活動を聞いたり、意見交換をする中から、自立した解決方策や方向性を見つけないと展望が見えません。残念ながら、区も学区にもこうしたフォローがありません。

など

【市の考え方】

子ども会ボランティアサークルの活動については、行事の企画や運営に係る保護者の負担軽減につながっていることから、活動の活性化につながるよう支援の充実に努めてまいります。具体的な施策の内容につきましては、いただいたご意見を参考に、ボランティアサークルの意見も聞きながら、支援策を検討していきます。

子ども会活動アシストバンク事業については、子ども会運営に関して、幅広く負担軽減につながる事業を実施しているため、現在対象としている4区から、実施区の拡大を進めてまいります。

さらに、子ども会と町内会や自治会などの地域団体の連携・交流事例の発信や子ども会の支援に関心のある企業や学生などとの連携を進めることで、保護者の負担軽減につなげてまいります。

②参加機会の充実

地域の特性に応じた参加機会の充実

【主な意見】

- ▶子ども会に入りたいと思ったが、住んでいる町内では活動していないようで、どうすると入れるのかもわからない。
- ▶子ども会を通じて、地域の子どもが活動し、交流する事は良いと思いますが、小学校の学区内でも子ども会がある所とない所があり、学友と共に子ども会活動に参加したくても、子ども会がない地区がある為、話題に入れず、学校内でグループ断裂が生じています。
- ▶子ども会への入会に関係なく、学区の子ども全員を対象とした行事の開催やその都度に保護者のお手伝いを募集するような形での運営などを検討して頂きますと幸いです。
- ▶活動が盛んな地域とそうでない地域の差が大きく、別の小学校の子どもが参加している子ども会に入会したいが、入れないというか入りづらい。子どもの住んでいる子ども会では、同じ活動がなく、仮に活動コンテンツがデジタルで共有されたとしても、今その活動をやっていない子ども会でそれができるかどうかは別だと思う。市の方でホームページを作り、イベントやスポーツ単位で見える化して、興味ある子ども会に他のところから参加できるようにして欲しい。

▶募集単位を市全域対応可能とか、他区参加可能とか、小学校区単位とかに広げることで、参加者が減る子ども会でも、支え手の確保ができて、人を集めやすくなるのではないかな。 ▶住んでいる住所で活動する子ども会に加入することになっていますが、お友達同士で入りたい場合など、柔軟に参加する子ども会を選択できたら良いと思います。	など
---	----

【市の考え方】 子ども会については、近年の団体数の減少を受け、活動が行われていない地域も少なくないことから、子ども会活動が行われていない地域の子どもの参加機会を確保するため、設立に必要な手続きの助言や地域への説明をサポートする仕組みを検討していきます。 また、子ども会に加入していない子どもや子ども会がない地域の子どもでも、子ども会活動を体験できるよう、区などの大きな単位で、保護者以外の支え手に関わる新たな子ども会活動を実施することとし、方向性に反映させます。 なお、活動内容については、地域ごとにさまざまであり、地域を越えて参加する仕組みを設けることは困難と考えておりますが、地域の子どもたち全員を対象にしたイベントを実施するための支援を行うことで、活動の活性化が進むように検討してまいります。

③活動の魅力向上と効果的な PR の実施

活動の魅力向上
【主な意見】 ▶子どもたちだけが楽しめる空間を作ってほしい。 ▶小さい子も含めて、みんなが楽しくできるような遊びをしたりすることがいいと思います。 ▶子どもの職業体験などがあるといいと思う。 ▶子どもが遊びながら勉強ができるといいです。お店屋さんごっこなど、子どもも大人も楽しめるようなことが、出来るといいです。 ▶みんなが、やりたい！やってみたい！みんなが楽しそうという企画を考えてやる人を募集すればいい。

- ▶みんなが集まってくれるようにするために、イベントを参加費無料で行ったり、参加賞があると良いと思う。
- ▶子どもが行事の企画や運営ができれば理想ですが、それには多くの大人の目と手が必要です。子ども会に入会していても、運営は手伝いたくない保護者も多くいます。なかなか難しいかもしれません。
- ▶子ども自身が子ども会の行事を企画・運営する取り組みも、魅力があると思う。ただ、私たちの子ども会の子たちは、土日も習い事で忙しく、行事の日だけ何とか都合をつけて参加してくれる。企画・運営に関わる子は、準備段階の会議などに参加しなくてはいけないとなると、難しくなりそうだと感じました。地域によって差が出そうだと感じました。
- ▶我が子ども会でも、今年から子ども会議をして子どもたちの行きたいところ・やりたいことを出し合い、子どもと親とが協力して行事の企画実施を行っています。それにともない、子どものファシリテーター役を派遣ではなく、役員自身がその手法を学びたいと考えているので、その講習会を開催してほしいです。
- ▶子どもたち自身が企画運営に関わる「子どもの手による子ども会活動」の促進に賛成します。私が子どもの頃は、子ども会の子どもが自ら集会所にあつまり、ゲームをする、ということをしていました。すべて子ども達で企画し、料金も回収してお菓子を配ったりしていた記憶です。大人はいませんでした。今の子ども会の活動では、子どもたちや親同士の交流が足りません。
- ▶子どもの手による子ども会活動とありましたが、実際は子ども自身が考える場はなく、全て大人が準備をしていることに疑問を感じます。もっと予算を使ってジュニアリーダーの育成を促し、その子たちが子ども会を参画できるくらいのイベントが町内でできると理想です。そこにもジュニアリーダーになりたいと思わせる特典や町内で活動する特典を紐付けできるなどの賛同者を増やすシステム構築が必要かと思います。
- ▶子ども会の仕事は前例に基づいて行う事が多いため、名古屋市の方からより良い策を提案して頂けるのは、とても良いことだと思います。
- ▶今年度初めて子ども会役員をやっています。アシストバンクさんにもお世話になり、科学実験とアイススケート体験を行いました。おかげさまで子どもたちからも大変好評でした。

▶市からもらえる子ども会活動に対する助成金がちょっと寂しいです。子どもたちが学校や家庭以外で様々な経験をするために、10人以上34人までで2万もないというのは、子ども1人1人へのサポートができかねます。

など

【市の考え方】

子ども会活動については、参加する子どもが主役であるため、子どもが進んで参加したくなるよう、いただいたご意見も参考にしながら、子ども会ならではの魅力が高まるよう支援をしております。

なお、子ども自身が主体的に企画や運営に関わる子ども会活動は、参加する子どもの満足度を高め、子ども会の活性化につながると考えておりますが、育成者のスキル、ノウハウが求められるなど、実施にあたっての課題もあるため、保護者以外の支え手に関わる新たな形で、子ども主体の子ども会活動を区などの大きな単位で実施するとともに、そのノウハウも踏まえた、研修会の開催やファシリテーターの派遣などにより、子ども主体の取り組みを地域子ども会などにも広げていくこととし、方向性に反映させます。

子ども会活動アシストバンク事業では、多様なイベント企画を提供しており、子ども会ごとの異なるニーズに対応することで、活動の魅力向上につながっているため、企画内容を充実するとともに、実施区の拡大を進めることで、子ども会行事の魅力向上につなげてまいります。

効果的なPRの実施
【主な意見】 ▶子ども会行事の告知についてですが、現段階ではLINEにて親への連絡だけになっています。子どもまで告知が行き届いてない事もままあるように思われます。学校の掲示板などで、全ての子ども達にお知らせが行き届くと良いのではないかと思います。 ▶子ども会のない町内が増えている中、存続していてもその存在を知られていないことが多く残念に思う。近隣の知人からの口コミでしか入会者が増えない状況なので、子ども会の存在自体を地域に知らせる方法があるとよい。 ▶今年度の新一年生の入会の意思確認を行う際、電話で聞くようにしてみたところ、保護者(役員)の負担と加入率に対する問い合わせが多かったです。そこがクリアになることで納得され、加入率増加につながりました。子ども会の活動実態がわからないまま、加入の意思を入学前の3月末までに求められているため、とりあえず非加入になる家庭も多いと感じました。よりわかりやすい紹介動画や体験、見学の間などがあると、新入生や保護者には理解しやすいと思いました。 ▶親が忙しくて参加できない子がいるのは残念。子どもだけで参加できるイベントもあり、学校など近所でできるイベントで十分楽しいから、保護者が忙しくても参加できると広めてほしい。 など
【市の考え方】 現在、本市が実施する子ども会活動の情報発信につきましては、チラシや市公式ウェブサイト、SNSなど、さまざまな媒体を活用して実施しています。 各子ども会の情報発信につきましても、SNSツールの活用方法のサポートなどを通じ、参加者による魅力発信が進むよう支援してまいります。 頂きましたご意見も参考にしながら、今後さらに保護者や子どもに活動の魅力が伝わるような情報発信に努めてまいります。